

RUGBY JAPAN 365

PREMIER

鈴木育美(TKM)出場大会数新記録 独占 大会のキャリアリーダーに訊く女子セブンズの現在地

2021/05/20

文●大友信彦

女子セブンズの国内サーキットという世界でも例のない方式で2014年に始まり、歴史を重ねてきた太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ。全大会が中止された2020年を挟み、大会が再会された今季の第2戦・静岡大会で、大会の歴史を刻む大記録が生まれた。

鈴木育美（横浜TKM）は、静岡エコパ大会で、太陽生命シリーズ出場大会数が「23」に到達。これは、これまで最多だった上運天（旧姓・加藤）あかり（ラグールセブン/ながとブルーエンジェルス/東京山九フェニックス）の「22」を更新する歴代最多記録となったのだ（R J 365の独自集計にもとづく）。

鈴木育美は日体大4年の2011年5月、香港戦で15人制に、横浜TKMに入団した2012年10月のアジアパシフィック女子セブンズで7人制の日本代表にデビュー。太陽生命ウィメンズセブンズシリーズが発足した2014年はTKM入り3年目、第1戦の龍ヶ崎大会は欠場したが、2014年の第2戦札幌大会に24歳でシリーズデビュー。この大会で主将を務めた。

以後、登録を外れたのは2015年第4戦横浜大会のみ。今回の静岡大会までシリーズは通算25大会行われたが、うち23大会に参加している。まさしく太陽生命ウィメンズセブンズシリーズの歴史を築いてきた選手とっていい。今季も第1戦東京大会の開幕戦・日体大戦で今季1号、太陽生命シリーズ全体では2年ぶりの大会復活初得点となるトライを決めるなど2トライ。静岡大会でも4トライを挙げるなど得点源として、またディフェンスの司令塔としてチームを支えている。今季残り2大会での活躍が楽しみだ。

以下に、新記録達成記念特別インタビューをお届けする。

プレミアムコラム

この記事の続きを読む。

購読手续をすると全ての内容をお楽しみいただけます。